

平成28年度全国学力・学習状況調査  
結果の分析と改善に向けて

平成28年10月11日（火）  
日田市教育委員会

## 1 調査の概要

(1) 実施期日

平成28年4月19日(火)実施

(2) 調査対象学年

小学校第6学年 中学校第3学年

(3) 調査内容

- ◇教科 小学校第6学年 国語A・B、算数A・B  
中学校第3学年 国語A・B、数学A・B
- ◇質問紙調査(児童・生徒)

(4) 調査内容の説明

- ◇A:主として「知識」に関する問題
- ◇B:主として「活用」に関する問題
- ◇質問紙調査(児童・生徒)
  - ・児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

(5) 用語の説明

- ◇正答率:全設問に対して児童生徒が正答した割合(集団の場合は平均値)。
- ◇全国比:全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。

## 2 平成28年度調査結果の概要

### 【小学校6年生】

《平均正答率》※色付き部分は全国値以上

	小学校6年生			
	国語		算数	
	知識(A)	活用(B)	知識(A)	活用(B)
日田市	74.5	60.2	78.8	47.6
大分県	72.7	58.2	77.9	46.7
全国	72.9	57.8	77.6	47.2
全国比	102.2	104.2	101.5	100.8

### 【中学校3年生】

《平均正答率》※色付き部分は全国値以上

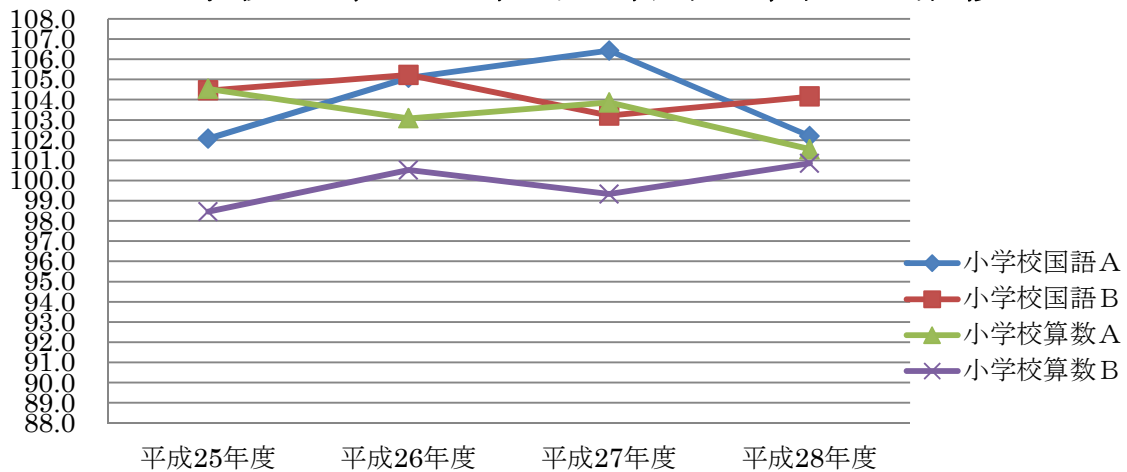
	中学校3年生			
	国語		数学	
	知識(A)	活用(B)	知識(A)	活用(B)
日田市	75.0	65.4	59.7	40.6
大分県	74.7	66.2	60.9	42.1
全国	75.6	66.5	62.2	44.1
全国比	99.2	98.3	96.0	92.1

### 3 平均正答率全国比の推移

※色付き部分は全国値以上

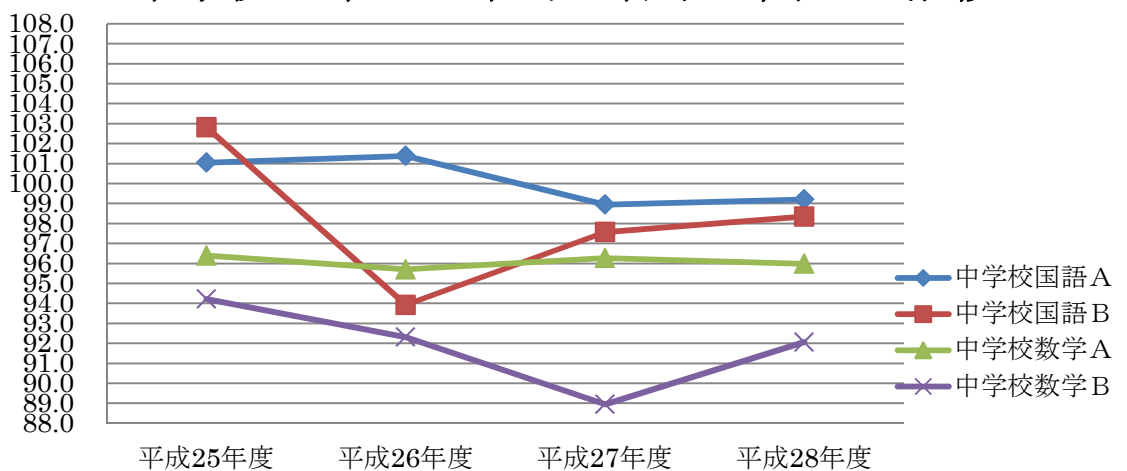
	小学校6年生				
	国語		算数		理科
	知識(A)	活用(B)	知識(A)	活用(B)	総合
平成25年度	102.1	104.5	104.5	98.5	
平成26年度	105.1	105.2	103.1	100.5	
平成27年度	106.4	103.2	103.9	99.3	104.4
平成28年度	102.2	104.2	101.5	100.8	

#### 小学校6年生 平均正答率全国比の推移



	中学校3年生				
	国語		数学		理科
	知識(A)	活用(B)	知識(A)	活用(B)	総合
平成25年度	101.0	102.8	96.4	94.2	
平成26年度	101.4	93.9	95.7	92.3	
平成27年度	98.9	97.6	96.3	88.9	96.4
平成28年度	99.2	98.3	96.0	92.1	

#### 中学校3年生 平均正答率全国比の推移



#### 4 教科に関する調査結果の分析及び改善の方策

##### (1) 小学校 国語

###### ①結果の概要

###### 【国語A】

◇2領域・1事項で全国を上回った。平成25年度以降全国を上回っている。

###### 【国語B】

◇全領域・事項で全国を上回った。平成25年度以降全国を上回っている。

###### ②分析結果と課題

【国語A】 ○：できている点 ●：課題のある点

###### 話すこと・聞くこと

●目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合うこと。

###### 書くこと

○書き手の表現の仕方をよりよくするために助言すること。

○目的や意図に応じて、書く事柄を整理すること。

###### 読むこと

○目的に応じて、図と表を関連づけて読むこと。

○登場人物の人物像について、複数の叙述をもとにして捉えること。

###### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○漢字を正しく読むこと、書くこと。

●ローマ字で表記されたものを正しく読むこと。

【国語B】 ○：できている点 ●：課題のある点

###### 話すこと・聞くこと

○質問の意図を捉えること。

###### 書くこと

○グラフをもとに、分かったことを的確に書くこと。

○目的や意図に応じて、表をもとに、自分の考えを書くこと。

●活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えること。

###### 読むこと

○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

###### ③改善の方策・ポイント

◇国語科において習得した「話す能力」「聞く能力」「話し合う能力」を活用し、目的や意図に応じて、収集して得た知識や情報を関係づけながら話し合う指導を行う。

◇ローマ字の五十音表の規則性を押さえ、音声を関連づけながら読み書きの指導を行う。生活の中で、進んで読んだり書いたりする活動を充実する。

◇目的や意図に応じ、自分の考えや相手の理解が明確になるように、自分が伝えたい内容と構成の効果を考える指導を行う。

## (2) 小学校 算数

### ①結果の概要

#### 【算数A】

◇全領域で全国を上回った。全体では、平成25年度以降全国を上回っている。

#### 【算数B】

◇3領域で全国を上回った。「量と測定」で全国を下回った。平成25年度以降、平成26年度と平成28年度で全国を上回っている。

### ②分析結果と課題

【算数A】 ○：できている点 ●：課題のある点

#### 数と計算

- 除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解すること。
- 数の大小関係を理解すること。

#### 量と測定

- 単位量あたりの大きさを求めること。

#### 図形

- 図形の構成要素に着目して、図形を構成すること。

#### 数量関係

- 全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味を理解すること。

【算数B】 ○：できている点 ●：課題のある点

#### 数と計算

- 乗法や除法の式の意味を解釈すること。

#### 量と測定・図形

- 図形を構成する角の大きさをもとに、四角形を並べてできる形を判断すること。

#### 数量関係

- グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述すること。

### ③改善の方策・ポイント

- ◇計算の結果の見積もりや確かめをする場を適宜位置づける指導を行う。
- ◇小数の仕組みと数の相対的な大きさについて数直線上で捉える指導を行う。
- ◇算数の問題場面で見出したことを、図形の構成要素に着目して、論理的に考察する学習を充実する。
- ◇日常生活の問題の解決に向けて、必要な情報を収集し、目的に応じて表やグラフを用いて表したり、適切な判断をしたりする学習を充実する。
- ◇言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、自分の考えを書いて表現し、説明し合う活動を充実する。

(3) 中学校 国語

①結果の概要

【国語A】

◇全領域・事項で全国を下回った。平成25年度以降、平成27年度と28年度で全国を下回った。

【国語B】

◇1領域で全国を上回り、1領域で全国を下回った。平成26年度以降、全国を下回っている。

②分析結果と課題

【国語A】 ○：できている点 ●：課題のある点

話すこと・聞くこと

○目的に応じて資料を効果的に活用して話すこと。

●互いの発言を検討して自分の考えを広げること。

書くこと

○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。

●文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くこと。

読むこと

○文脈の中における語句の意味を理解すること。

●奥付を使って本についての情報を得ること。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○情報を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えること。

●歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。

【国語B】 ○：できている点 ●：課題のある点

書くこと・読むこと

○文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと。

●話題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること。

読むこと

●目的に応じて文章を要約すること。

③改善の方策・ポイント

◇合意形成をめざす話し合いで、互いの発言を検討し、話題について別の立場や視点から考えることを通して、自分の考えを広げる指導を行う。

◇語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して読み返し、読みやすく分かりやすい文章を書く指導を行う。

◇文章から新たな疑問や課題を明確に設定し、学校図書館を活用して、解決に必要な情報を集めるための方法を身につけ、読み取る学習を充実する。

◇文章を要約したり要旨を読み取る際に、内容のまとまりを捉え、中心的な部分と付加的な部分を読み分け、内容を正確に整理する学習を充実する。

#### (4) 中学校 数学

##### ①結果の概要

###### 【数学A】

◇全領域で全国を下回った。平成25年度以降全国を下回っている。

###### 【数学B】

◇全領域で全国を下回った。平成25年度以降全国を下回っている。

##### ②分析結果と課題

【数学A】 ○：できている点 ●：課題のある点

###### 数と式

○不等式の意味を読み取ること。

●一元一次方程式の意味を理解すること。

###### 図形

○空間における直線と直線の位置関係（辺と辺がねじれの位置にあること）を理解すること。

###### 関数

●比例の式について、 $x$ の値の増加に伴う $y$ の増加量を求めること。

###### 資料の活用

●測定値が与えられた場合において、近以値と誤差の意味を理解すること。

【数学B】 ○：できている点 ●：課題のある点

###### 数と式

○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理すること。

●与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現すること。

###### 図形

●2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明すること。

###### 資料の活用

●資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

##### ③改善の方策・ポイント

◇様々な数を方程式の文字に代入して解を見つける活動を充実する。

◇比例の式において、 $x$ の値の増加に伴う $y$ の値の変化を調べる活動を充実する。

◇測定値には誤差があり、真の値の近以値であることを、実感を伴い理解する場面を設定した学習を充実する。

◇方程式の解などの数学的な結果を、実生活の具体的な場面に即して意味づける機会を設定した学習を充実させる。

◇図形の合同で、結論から仮定、仮定から結論の両方向から考えて証明する学習を充実する。

## 5 児童・生徒質問紙調査結果について

(1) 生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況（数値は肯定的回答の割合 %）

※色つき：全国より5ポイント以上高い

※二重枠：全国より5ポイント以上低い ※下線：全国より低い

【自尊意識・将来に対する意識・規範意識・学校生活等】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	<u>92.3</u>	93.1	94.4	95.6	94.0	94.3
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	78.2	75.4	76.1	71.5	69.5	69.6
自分には、よいところがあると思いますか	79.1	76.0	76.3	<u>68.7</u>	68.2	69.3
将来の夢や目標を持っていますか	86.9	85.0	85.3	73.5	71.8	71.1
学校に行くのは楽しいと思いますか	<u>81.0</u>	84.1	86.3	82.8	82.5	81.4
学校のきまりを守っていますか	94.4	91.8	91.5	97.3	95.0	94.7

【基本的な生活習慣・家庭での学習習慣】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
朝食を毎朝食べていますか	<u>93.5</u>	94.2	95.5	93.3	93.4	93.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	<u>59.6</u>	63.0	62.2	50.5	48.8	48.4
家で、学校の宿題をしていますか	<u>96.2</u>	96.4	97.0	94.8	91.6	90.1
家で、学校の授業の予習をしていますか	<u>30.7</u>	36.9	43.3	<u>19.1</u>	24.0	34.2
家で、学校の授業の復習をしていますか	<u>38.7</u>	51.8	55.2	<u>49.6</u>	56.3	51.0
平日に、どれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりしますか ※2時間未満割合	<u>35.1</u>	39.7	42.8	<u>46.1</u>	51.8	51.1
平日に、どれくらいの時間、テレビゲームをしますか（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む） ※2時間未満の割合	72.3	71.2	70.4	67.1	69.2	65.1
平日に、どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか ※2時間未満の割合	92.3	90.0	89.6	69.6	72.0	69.6



【社会に対する意識・地域との関わり】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	72.4	73.7	70.6	76.8	72.5	65.8
地域社会などでボランティア活動などに参加したことがありますか	33.9	40.0	36.2	51.3	51.3	48.7
新聞を読んでいますか ※週に1回以上	20.9	19.7	24.0	17.3	17.4	18.3
今住んでいる地域の行事に参加していますか	88.2	73.3	67.9	62.4	48.9	45.2

(2) 教科の学習に対する関心・意欲・態度に関する回答状況

【国語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
国語の勉強は好きですか	59.6	56.7	58.3	66.9	61.5	59.8
国語の授業の内容はよく分かりますか	82.3	79.9	80.7	76.5	72.8	74.1
読書は好きですか	78.6	75.3	74.6	64.1	68.2	69.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	71.9	65.9	67.0	64.3	61.5	62.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.9	60.2	62.3	55.8	54.5	56.7
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	75.7	72.5	74.0	68.4	65.2	66.7
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	76.2	76.6	78.1	72.3	70.4	71.3
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	77.4	74.7	75.1	75.9	73.1	71.7

【算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
算数・数学の勉強は好きですか	68.2	64.0	66.0	<u>51.1</u>	52.2	56.0
算数の授業の内容はよく分かりますか	<u>79.0</u>	78.2	80.2	<u>59.9</u>	61.8	69.4
問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	<u>80.5</u>	80.6	81.0	<u>69.9</u>	70.3	72.1
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.3	67.7	67.4	42.4	42.0	41.9
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	82.2	80.2	80.5	70.1	67.9	69.0
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	82.5	80.8	80.8	<u>66.7</u>	66.4	69.8
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	86.6	85.0	84.8	<u>80.7</u>	81.4	81.1
今回の算数・数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。※全てで最後まで書こうと努力した。	<u>71.2</u>	72.0	72.0	95.8	92.5	92.7

【学習状況】※「学びに向かう力」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	<u>53.1</u>	51.9	81.7	<u>46.7</u>	50.5	50.2
自分の考えをほかの人に説明したり、文章で書くことは難しいと思いますか	<u>52.1</u>	56.9	54.8	<u>62.3</u>	63.0	62.8
原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	60.8	57.7	60.4	<u>60.0</u>	59.6	62.8
友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	<u>92.3</u>	90.5	92.7	<u>91.6</u>	92.1	93.0
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	66.9	66.5	68.3	<u>63.9</u>	65.4	64.8

【授業での学習状況】※「新大分スタンダード」「学びに向かう力」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
授業の中で目標（めあて・ねらい）がしめされていたと思いますか	87.9	86.6	87.6	91.1	89.9	84.9
授業の最後に学習内容を振り返る活動をよくおこなっていたと思いますか	76.7	75.2	76.1	69.1	68.0	63.1
授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）を書いていたと思いますか	88.7	90.0	87.9	91.5	87.2	76.8
授業では、学級の友達（生徒）との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	86.0	82.2	83.4	82.2	80.9	77.8
学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	78.7	73.0	75.7	73.0	70.5	69.3
先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	77.9	76.7	77.8	75.1	74.1	73.8
授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。	<u>75.8</u>	74.5	77.1	72.8	71.5	72.5
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	<u>63.7</u>	60.4	64.2	<u>54.5</u>	55.1	57.7
自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	86.4	84.0	85.1	85.4	82.4	84.1
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。	91.1	86.4	84.8	81.2	77.1	74.1
授業の中でわからないことがあったらどうすることが多いですか ※そのままにしておかないと回答した割合	<u>92.8</u>	93.4	94.2	<u>86.6</u>	95.9	89.1

(3) 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

①分析結果と課題

【小学校】

- 全国を上回っている事項が半数以上で、全体として生活習慣・学習習慣ともに安定した数値を示しており、前年度よりも改善している事項が増えている。
- 「学校生活等」で「学校に行くのが楽しい」と回答している児童の割合が全国と比べ低くなっており、引き続き学校生活の満足度に課題が見られる。
- 「家庭での学習習慣」で「家で、学校の授業の復習をしている」と回答している児童の割合が全国と比べ低くなっており、毎日取り組んでいる宿題の目的を認識できていないことが課題。
- 「国語の勉強が好き・分かる」「算数の勉強が好き」で全国を上回っている。
- 「授業での学習状況」の多くの事項で全国を上回り、また、昨年度の数値を多くの事項で上回っている。新大分スタンダードにもとづく授業改善や児童の学習状況に応じたきめ細かな指導の取組が定着しつつある。

【中学校】

- 全国を上回っている事項が半数以上で、全体として生活習慣・学習習慣ともに安定した数値を示している。前年度より改善した事項が大きく増えてきている。
- 「家庭の学習習慣」で「家で、学校の授業の予習をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」と回答している生徒の割合が全国と比べ低くなっており、毎日取り組んでいる宿題等の家庭学習の目的や意義を認識できていないことが課題。
- 「国語の勉強が好き・分かる」と回答した生徒の割合が全国を上回り、昨年度より大きく改善している。しかし、「数学の勉強が好き・分かる」と回答した生徒の割合が全国を下回り、また、昨年度より数値が下がっていることから、数学への学習意識に課題が見られる。
- 「学習状況」の多くの事項で全国を上回り、また、昨年度の数値を多くの事項で上回っている。宿題の取組状況や定期考査の結果から生徒の学力状況を把握し、補充学習や家庭学習による理解の不十分な生徒へのきめ細かな指導の改善が進んでいる。

②改善の方策

- ◇小・中学校ともに、「分かる」「できる」「楽しい」と実感する教科の授業や学習を実践し、児童生徒が自己の成長を実感することから、自己肯定感を育む指導を充実させる。教職員から児童生徒に積極的なコミュニケーションを取り、良好な関係をつくる。
- ◇学級活動や児童会・生徒会活動を通して、仲間づくりの活動を充実させ、良好な学級文化を育む。
- ◇新大分スタンダードにもとづく、生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開による授業をより充実させる。児童生徒の問いからの「課題」の設定、自己の考えの形成、対話・協働による課題解決に向けた学習活動の展開を推進する。
- ◇毎日取り組みの中で宿題の目的を繰り返し説明し、家庭学習の目的や意義を理解させる。併せて、計画を立てて家庭学習に取り組むよう、「学習内容・方法の確認」「時間の設定」等の具体的な指導を行う。
- ◇学力向上に向けた学校と家庭の連携・協働による取組において、重点的取組と取組指標を確実に実践する。

## 6 クロス集計について

### (1) クロス集計結果の概要

①児童生徒の学校図書館や地域の図書館（読書・貸出）に行く頻度と平均正答率の関係（平日）

学年	頻度	国語A	国語B	算・数A	算・数B
小学校 6年生	週に1～3回程度行く	75.1	63.2	82.7	50.6
	ほとんど・全く行かない	71.9	57.0	76.3	45.1
中学校 3年生	週に1～3回程度行く	76.1	66.0	61.9	42.4
	ほとんど・全く行かない	73.6	62.6	57.7	38.7

②児童生徒の新聞を読む頻度と平均正答率の関係（平日）

学年	頻度	国語A	国語B	算・数A	算・数B
小学校 6年生	ほぼ毎日読む	77.6	58.6	78.9	48.7
	ほとんど・全く読まない	72.9	59.7	77.9	46.5
中学校 3年生	ほぼ毎日読む	77.5	70.3	66.5	49.6
	ほとんど・全く読まない	74.5	64.4	58.3	39.4

③児童生徒のゲーム時間（テレビ、コンピューター、携帯式、携帯電話・スマートフォン）と平均正答率の関係（平日）

学年	頻度	国語A	国語B	算・数A	算・数B
小学校 6年生	全くしない	77.0	62.6	80.2	46.9
	2時間以上～3時間未満	68.6	54.8	74.9	44.7
中学校 3年生	全くしない	79.6	69.9	63.2	43.7
	2時間以上～3時間未満	73.0	61.9	55.7	37.3

④児童生徒の通話やメール、インターネット利用時間（携帯電話・スマートフォン）と平均正答率の関係（平日）

学年	頻度	国語A	国語B	算・数A	算・数B
小学校 6年生	30分未満	77.1	62.8	82.2	51.4
	2時間以上～3時間未満	67.8	58.3	74.0	43.6
中学校 3年生	30分未満	78.8	71.3	67.7	47.3
	2時間以上～3時間未満	73.7	63.8	58.3	39.1

### (2) 分析結果

- ①「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の質問事項で、「週に1～3回程度以上行く」と回答した児童生徒の割合は全国を大きく上回っている。その中で、「週に1～3回程度行く」と回答している児童生徒の方が、「ほとんど・全く行かない」と回答している児童生徒より、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- ②「新聞を読んでいますか」の質問事項で、「週に1回以上読む」と回答した児童生徒の割合は全国を下回っている。その中で、「ほぼ毎日読む」と回答している児童生徒の方が、「ほとんど・全く読まない」と回答している児童生徒より、平均正答率が高い傾向が見られる。

- ③「普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」の質問事項で、「2時間未満」と回答した児童生徒の割合は全国を上回っている。その中で、「全くしない」と回答している児童生徒の方が、「2時間以上、3時間より少ない」と回答している児童生徒より、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- ④「普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」の質問事項で、「2時間未満」と回答している児童生徒の割合は全国を上回っている。その中で、「30分未満」と回答している生徒の方が、「2時間以上、3時間より少ない」と回答している児童生徒より、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。

### (3) 改善の方策

◇各学校の「学校図書館を活用した授業推進計画」にもとづき、①「読書センター」「学習・情報センター」の両方の機能をもつ図書館環境整備、②学校図書館活用教育を推進する校内体制づくり、③児童生徒の読書量の増加と読書の質の向上の3点を中心に取組を進める。

◇学級活動や生徒指導、育友会の場で、「ゲームの時間」と学力の相関関係と「携帯電話・スマートフォンによる通話・メール・インターネットの時間」と学力の相関関係を児童生徒や保護者に繰り返し説明し、毎日の生活でゲームやメール・インターネットの時間を児童生徒が自ら管理していけるよう、学校と家庭で連携・協働した取組を進める。

## 7 学校質問紙調査結果について

- (1) 学校質問紙調査結果の概要（数値は肯定的回答の割合 %）

※色つき：全国より5ポイント以上高い

※二重枠：全国より5ポイント以上低い ※下線：全国より低い

【児童・生徒の学習状況】※「学びに向かう力」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
児童生徒は熱意をもって勉強していると思いますか	<u>88.9</u>	94.7	93.4	<u>83.3</u>	88.4	91.4
児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	<u>88.9</u>	88.9	90.5	<u>91.7</u>	86.7	94.5
児童生徒は礼儀正しいと思いますか	94.4	88.9	89.1	100.0	91.7	93.5
児童生徒は話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	72.2	72.9	55.3	83.4	74.2	73.2
児童生徒は話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	<u>83.3</u>	88.1	85.8	91.6	86.7	88.3
児童生徒は話し合いなどの活動で、分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか	77.8	70.1	69.2	75.0	68.3	70.5

児童生徒は自らが設定する課題や 教員から設定される課題を理解し て授業に取り組むことができている と思いますか	<u>88.8</u>	91.1	90.9	<u>83.3</u>	85.0	87.2
児童生徒は授業において、自らの考 えがうまく伝わるよう、資料や文 章、話の組立てなどを工夫して、発 言や発表を行うことができている ますか	72.2	61.9	61.2	75.0	52.5	59.7

【学習指導・授業改善】※「新大分スタンダード」「学びに向かう力」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
各教科等の指導のねらいを明確に した上で、言語活動を適切に位置づ けましたか	100.0	96.7	92.8	100.0	95.9	88.9
授業の冒頭で目標(めあて・ねらい) を示す活動を計画的に取り入れまし たか	100.0	98.4	98.8	100.0	99.2	97.8
授業の最後に学習したことを振り 返る活動を計画的に取り入れまし たか	100.0	96.7	94.9	<u>91.6</u>	94.2	93.0
授業で扱うノートに、学習の目標 (めあて・ねらい)とまとめを書く ように指導しましたか	100.0	97.6	96.4	91.7	95.0	88.9
様々な考えを引き出したり、思考を 深めたりするような発問や指導を しましたか	<u>94.5</u>	96.3	94.8	<u>91.7</u>	92.5	93.3
学級やグループで話し合うよう活 動を授業などで行いましたか	100.0	95.9	96.5	<u>91.6</u>	95.0	92.9
発言や活動の時間を確保して授業 を進めましたか	100.0	98.4	79.7	100.0	97.5	95.9
授業において、児童生徒自ら学級や グループで課題を設定し、その解決 に向けて話し合い、まとめ、表現す るなどの学習活動を取り入れまし たか	<u>72.2</u>	75.8	80.1	<u>66.7</u>	64.2	72.6
自分で調べたことや考えたことを 分かりやすく文章に書かせる指導 をしましたか	94.4	91.4	93.9	91.7	88.4	91.3
本やインターネットを使って発表 ができるよう指導しましたか	94.5	91.8	91.9	91.7	80.0	82.2
資料を使って発表ができるよう指 導しましたか	100.0	90.6	90.5	<u>75.0</u>	80.0	84.8

【補充学習】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか ※週に1回以上	33.4	54.1	32.0	50.0	55.8	25.2
長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか ※1日以上	77.8	89.7	64.2	58.3	89.2	79.8

【家庭学習】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	94.4	97.1	97.3	100.0	95.8	87.5
家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	100.0	94.7	88.8	100.0	88.3	82.1
家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか	83.3	88.9	82.1	91.7	62.5	68.8
家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか	100.0	96.7	91.9	100.0	95.0	87.8
予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読むなどを含む）を促しましたか	94.5	90.9	93.2	83.3	87.5	87.4

【学校図書館を活用した授業】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
図書館資料を利用した授業を計画的に行いましたか ※月に数回程度以上	50.0	50.4	43.1	16.7	15.8	11.7

(2) 学校質問紙調の調査結果をふまえて

①分析結果と課題

【小学校】

- 「学習指導・授業改善」で、「新大分スタンダード」に関連する質問事項の多くで100%となっており、全国を上回っている。しかし、「授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答した学校の割合が昨年度と同値で、全国・県と比べて低くなっており、授業での児童の主体的な課題設定の機会に課題が見られる。
- 「補充学習」で、「長期休業日を利用した補充的な学習サポートを1日以上実施している」と回答した学校の割合が全国と比べ高くなっている。



- 「家庭学習」で、「家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている」「家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている」と回答している学校が100%となっており、家庭学習でのきめ細かな取組ができています。しかし、保護者との連携・協働の取組に課題が見られる。
- 「学校図書館を活用した授業」で、「図書館資料を利用した授業を月に数回程度以上行っている」と回答した学校の割合が全国を上回っている。

### 【中学校】

- 「学習指導・授業改善」で、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」等の質問事項で全国を下回っている。「新大分スタンダード」をもとにした生徒指導の3機能を取り入れた問題解決的な展開の授業の実践において、引き続き課題が見られる。
- 「補充学習」で、「放課後を利用した補充的な学習サポートを1日以上実施している」と回答した学校の割合が全国を上回っている。一方、「長期休業日を利用した補充的な学習サポートを1日以上実施している」と回答した学校の割合が全国・県と比べ下回っている。中学校の平日の補充学習の指導において、学校全体の組織的な取組が進んできている。
- 「家庭学習」で、「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている」等の質問事項で全国を上回っている。中学校の家庭学習の指導においても、学校全体の組織的な取組への改善が進んできている。
- 「学校図書館を活用した授業」で、「図書館資料を利用した授業を月に数回程度以上行っている」と回答した学校の割合が全国と比べ上回っている。しかし、学校図書館を活用した問題解決的な展開の授業実践をより推進していく必要がある。

### (3) 改善の方策

- ◇①1時間完結型授業、②板書の構造化、③習熟の程度に応じた指導、④生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業による「新大分スタンダード」にもとづく授業改善の取組を、小・中学校の全教科・全教員による実践の徹底を図る。
- ◇小学校では、家庭学習の取組を中心に、学力向上に向けた学校と家庭が連携・協働した重点的取組と取組指標の確実な実践を図る。
- ◇中学校では、学校評価4点セットの学力の重点目標と連動した「授業改善の5点セット」にもとづく全教科に共通した「取組内容」による授業改善を、全教員が全教科で実践することで実効性のある取組にしていく。

## 8 現状と分析

### 【小学校】

<現状>

#### (1) 平均正答率

- 全教科の知識（A）・活用（B）で全国を上回った。

#### (2) 教科領域・問題内容

- 国語Aは、「話すこと・聞くこと」を除く2領域・1事項で全国を上回った。「情報を関係づけながら話し合う」「ローマ字の読み書き」に課題が見られる。
- 国語Bは、全領域・事項で全国を上回った。「活動報告文を書く」に課題が見られる。

○算数Aは、全領域で全国を上回った。「小数の除法」「数の大小」「全体の大きさに対する部分の大きさの割合」に課題が見られる。

○算数Bは、「量と測定」を除く3領域で全国を上回った。「日常生活の事象における数学的な表現の活用と解釈」「資料(折れ線グラフ)読み取りと判断の根拠の説明」「図形の構成と論理的な考察」に課題が見られる。

(3) 児童質問紙

○「国語の勉強が好き・分かる」「算数の勉強が好き」で全国を上回った。

○「学習状況」の多くの事項で全国を上回り、また、多くの事項で昨年度の数値を上回った。

(4) 日田市学力向上アクションプランの成果指標より ※色付き部分は達成

○小6国語A 平均正答率全国比 達成指標 (106) ⇒H28全国調査 (102.2)

○小6国語B 平均正答率全国比 達成指標 (106) ⇒H28全国調査 (104.2)

○小6算数A 平均正答率全国比 達成指標 (104) ⇒H28全国調査 (101.5)

○小6算数B 平均正答率全国比 達成指標 (103) ⇒H28全国調査 (100.8)

○国語の勉強が好き 肯定的回答割合 達成指標 (65) ⇒H28全国調査 (59.6)

○算数の勉強が好き 肯定的回答割合 達成指標 (65) ⇒H28全国調査 (68.2)

○国語の授業が分かる 肯定的回答割合 達成指標 (83) ⇒H28全国調査 (82.3)

○算数の授業が分かる 肯定的回答割合 達成指標 (83) ⇒H28全国調査 (79.0)

○「話し合う活動で自分の考えを深め広げる」 肯定的回答  
達成指標 (70) ⇒H28全国調査 (66.9)

○「授業でわからないことをそのままにしておかない」 肯定的回答  
達成指標 (95) ⇒H28全国調査 (92.8)

<分析>

○平成25年度以降、算数Bを除く国語A・B、算数Aで全国を上回っており、学力の定着は良好な状況である。県教委の進める「新大分スタンダード」(①「一時間完結型授業」②「板書の構造化」③「習熟の程度に応じた指導」④「生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業」)に基づく授業改善の取組が、小学校において継続的に実践されていることによるものと考ええる。

○1月日田市実施分学力調査(3～6年生:4教科)を実施し、定着の弱い学習内容を把握し、授業改善・補充学習・家庭学習による年度内での補充の取組も、一定の成果につながっていると考える。

○国語A・Bの平均正答率全国比の推移は102～106で安定しているものの、算数Aの平均正答率全国比の値が下降傾向となっている。また、児童質問紙調査の学習に対する意識や学習状況では、多くの質問事項で肯定的回答の割合が全国を上回っており、「学びに向かう力」が向上してきていると考える。

○小学校では、これまでの取組を確実に実践しているものの、取組に大きな変化がないままで経過している。そのことも算数Aの平均正答率全国比の推移の下降傾向の一要因と考えられる。そのため、児童自ら問いをもち、課題を解決しようとする問題解決的な展開の授業へ授業改善を一層進め、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を高める必要があると考える。

【中学校】

<現状>

(1) 平均正答率

○全教科の知識(A)・活用(B)で全国を下回った。

## (2) 教科領域・問題内容

- 国語Aは、全領域・事項で全国を下回った。「文章を推敲する」「日常生活の中の話題についての対話や討論」「奥付を読む」に課題が見られる。
- 国語Bは、「書くこと」を除く2領域・1事項で全国を下回った。「情報を読み取る」「日常生活の中の説明的な文章を読む」「記事からの課題設定」「情報収集のための学校図書館活用」に課題が見られた。
- 数学Aは全領域で全国を下回った。「方程式の解き方」「平面図形の基本的な性質」「証明の必要性と意味」「比例の表と式」「反比例の意味とグラフ」「一次関数」「近似値と誤差」「確率の意味と求め方」に課題が見られる。
- 数学Bは全領域で全国を下回った。「事象の数学的な表現と解釈」「筋道を立てて証明し、条件を付加して考えること」「情報の適切な選択と判断」に課題が見られる。

## (3) 生徒質問紙

- 「国語の勉強が好き・分かる」で全国を上回り、「数学の勉強が好き・分かる」で全国を下回った。
- 「学習状況」の多くの事項で全国を上回り、また、多くの事項で昨年度の数値を上回った。

## (4) 日田市学力向上アクションプランの成果指標より ※色付き部分は達成

- 中3国語A 平均正答率全国比 達成指標 (102) ⇒H28全国調査 (99.2)
- 中3国語B 平均正答率全国比 達成指標 (102) ⇒H28全国調査 (98.3)
- 中3数学A 平均正答率全国比 達成指標 (102) ⇒H28全国調査 (96.0)
- 中3数学B 平均正答率全国比 達成指標 (102) ⇒H28全国調査 (92.1)
- 国語の勉強が好き 肯定的回答割合 達成指標 (60) ⇒H28全国調査 (66.9)
- 数学の勉強が好き 肯定的回答割合 達成指標 (60) ⇒H28全国調査 (51.1)
- 国語の授業が分かる 肯定的回答割合 達成指標 (70) ⇒H28全国調査 (76.5)
- 数学の授業が分かる 肯定的回答割合 達成指標 (70) ⇒H28全国調査 (59.9)
- 「話し合う活動で自分の考えを深め広げる」 肯定的回答  
達成指標 (65) ⇒H28全国調査 (63.9)
- 「授業でわからないことをそのまましておかない」 肯定的回答  
達成指標 (90) ⇒H28全国調査 (86.6)

## <分析>

- 平成25年度以降、国語A・Bの平均正答率全国比は、平成26年度の国語Bを除いて97~101で推移し、数学A・Bは88~96で推移している。特に、数学の学力定着・向上の取組に課題があり、実効性のある改善を図る必要がある。
- 中学校3年生の同一集団の推移を見ると、3年前の小学校6年生時（平成25年度全国学力・学習状況調査）では、算数Bを除いて全国平均正答率を上回っていた。また、昨年度の中学校2年生時（平成27年度大分県学力定着状況調査）においても、〔国語活用〕を除いた〔国語知識〕〔数学知識〕〔数学活用〕で偏差値50を上回っていた。中学校1年生段階までは学力定着が図られてきているが、中学校2年生段階での学力定着の取組に課題があると考えられる。
- 生徒質問紙調査の学習に対する意識や学習状況では、昨年度と比べ、多くの質問事項で肯定的回答の割合が全国を上回っており、「学びに向かう力」が向上してきていると考えられる。この結果は、平成26年度からの「学力向上に係る市内4中学校連絡会」により、補充学習と家庭学習の内容や方法について見直しを行い、教師個人の取組から学校全体による組織的な取組へと改善を図ってきたことが効果を上げてきていると考えられる。

- 中学校では、学校の全ての教科に共通化した取組内容による授業改善の徹底とともに、学校規模に応じた教科部会による教科指導力向上の仕組みの構築が必要と考える。

## 9 課題

### 【小学校】

- 基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な展開の授業の実践により、思考力・判断力・表現力等の活用力の向上を図ること
- 学習へのモチベーションを高め、学習の成果を実感する授業改善により、児童生徒の学びに向かう力（「教科の勉強が好き」「教科の勉強が分かる」等）を高めること
- 課題のある学校の授業改善・補充学習・家庭学習の現状を把握し、目標達成に向けた組織的な授業改善等の取組の推進により、学校間格差をなくすこと

### 【中学校】

- 「新大分スタンダード」の徹底による授業改善により、全教科の知識(A)・活用(B)の平均正答率で全国を上回ること
- 「学力向上に係る市内4中学校連絡会」を継続し、他の学校に広げ、基礎的・基本的な知識・技能とともに、学びに向かう力（「教科の勉強が好き」「教科の勉強が分かる」等）を高めること
- 課題のある学校の授業改善・補充学習・家庭学習の現状を把握し、目標達成に向けた組織的な授業改善等の取組の推進により、学校間格差をなくすこと

## 10 今後の取組

### 【小・中学校】

#### (1) 学力向上の目標達成に向けた組織的な取組の推進

- 相互に関連するよう計画を作成し「学校評価の4点セット」「目標協働達成の4点セット」「学力向上プラン」「授業改善の5点セット」「授業改善計画（校内研究推進計画）」の進捗状況を、短期のPDCAサイクルで検証・改善し、学校の全教員がより組織的に協働した取組を進める。

#### (2) 学力向上プランの確実な遂行

- 「授業改善の取組（授業改善の5点セット）」「補充学習の取組」「家庭学習の取組」「家庭・地域との協働の取組」において、設定した重点的取組を確実にを行い、取組指標により検証・改善を図る。

#### (3) 日田市学力向上支援事業実施要項にもとづく取組の推進

- 日田市の学力向上に向けて配置した学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員による本務校及び兼務校での授業観察による授業改善と公開授業により、日田市小・中学校教員の指導力向上を図る。（市内全教職員が1回以上参観）

#### (4) 学力調査（県・全国）結果の分析と具体的対策の徹底

- 各学校において学力調査（県・全国）結果を分析し、課題の解決に向けた具体的な取組を授業改善・補充学習・家庭学習の中から作成し、実施する。

(5) 学力向上に係る3つの柱(授業改善・補充学習・家庭学習)による取組の推進

①学校全体で取り組む授業改善

- 「新大分スタンダード」に基づく、「つきたい力(指導事項)」を明確にした、「めあて」「振り返り」、「課題」「まとめ」のある1時間完結型授業の授業改善の徹底。
- 教科の特質に応じ、基礎的・基本的な知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力等の活用力を向上させる課題を位置づけた問題解決的な展開の授業の徹底。
- 「生徒指導の3機能」(「自己決定の場」「自己存在感を与える場」「共感的人間関係を育む場」の設定)を生かした児童生徒の主体的な授業の推進。
- 児童生徒の習熟の程度に応じた、きめ細かな学習指導の工夫改善の推進。
- 「新大分スタンダード」に基づく各学校の「授業観察シート」を活用した、互見授業と授業観察の推進。(学期に1回の互見授業週間の設定)

②学校全体で取り組む補充学習

- 学力の定着が十分でない児童生徒に対し、朝学習・清掃後の時間・放課後の時間あるいは長期休業を活用した補充学習や個別指導の工夫・改善を行い、「分かる」「できる」喜びを実感しながらの学力定着を図る。

③学校全体で取り組む家庭学習

- つきたい力を明確にした教科の授業との連動のうえで、つきたい力の確実な定着につながる家庭学習の内容や取組ませ方の工夫改善を図る。
- 学力向上に向けた学校と協働した家庭・地域の「重点的取組」「取組指標」を設定し、協働して実践し、学力向上会議で成果・課題の検証・改善を行う。

【小学校】

(6) 「学力向上に係る市内小学校連絡会」の立ち上げと推進

- 「学力向上に係る市内4中学校連絡会」と並行して、小学校による「学力向上に係る市内小学校連絡会」を組織し、日田市小学校の学力・学習状況の現状から課題を協議し、学力向上に向けての取組を検討し、市内小学校全体に広げる。

【中学校】

(7) 日田市中学校教科部会を活用した授業改善及び「中学校確認テスト」の推進

- 中学校教科部会(国語・社会・数学・理解・英語)で、学力調査結果(県、全国)の課題解決につながる取組を年間4回の教育課程等研究協議会で推進する。
- 中学校の数学部会と英語部会と市教委で連携し、日田市統一の「確認テスト」を実施し、基礎基本の確実な定着を図る。

(8) 「中学校学力向上対策 3つの提言①②③」の推進

- 「①学校の組織的な授業改善による『新大分スタンダード』の徹底」「②学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築」「③生徒と共に創る授業の推進」の3つを中学校に根付かせる取組を進める。
- 中学校学力向上支援教員が本務校(兼務校)において、自身のミッションによる「3つの提言」の取組内容を実践するとともに、公開授業や各種協議会等で実践報告を行い、市内中学校に普及を図る。